



「笑顔いっぱい！フレンドリーオフィス」認定事業所の 障害者雇用にかかる取組事例



事業所名：社会福祉法人慶美会

1. 障害者雇用までの経緯・きっかけ

障害のある人の持てる能力の発揮の場として、社会福祉法人の現場がマッチしやすいのではと考えたことがきっかけ。

2. 障害のある人が従事している主な業務

- ・主に環境整備として、施設内外の清掃、不要物（ごみ）や廃品の分別・処分、配膳前の食事カートの移動
- ・平成31年4月以降は、介護補助として、ユニット内の介護の手伝いを行う障害者を採用予定。

3. 障害のある人を受け入れる体制を整えるために行った取組や、周りの従業員への理解促進のために行っている取組

- ・本人の特性（出来ること、チャレンジが必要なこと、本人が望まないこと、苦手なこと）などある程度の共通認識を図った。それ以外は、健常者と同じ対応。

4. 障害のある人の雇用継続のために行っている取組や、障害のある人の働く意欲を維持するために行っている取組

- ・障害のある人の適性を一緒に考えることが大事で、うまく仕事とマッチングすると素晴らしい能力を発揮し、それがやりがいとなって長く続けられる。
- ・混乱が起きないように、作業手順や注意書きを掲示し、確認をしてもらう。
- ・プライドが傷つく人もいるので、周囲が本人の仕事に対して望まない限りむやみに手伝ったりしないなどの配慮も必要。

5. 障害のある人を雇用する上で連携した支援機関と、支援機関を活用して良かった点

連携した支援機関（ 障害者就業・生活支援センター、特別支援学校 ）

活用して良かった点

- ・障害者就業・生活支援センターは初めて障害者雇用を検討した際に、推薦いただいた支援機関で、毎年職場訪問や面接、相談など細やかなサポートを行っていただいている。
- ・特別支援学校からの実習を受けている関係から、施設の就職を考えている生徒と3回実習を行い業務内容など納得のもと就職に結びついた。